

日本写真学会・写真感光材料工業会共催 2022年度 PHOTONEXT技術アカデミー

後援：株式会社プロメディア

協力：(公社)日本写真協会、(一社)日本写真文化協会、(協)日本写真館協会

(一社)日本写真映像用品工業会、日本フォトイメージング協会

日時：2022年6月7日(火) 10:00~17:00 (受付開始/9:30)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール2F会議室 E204

定員：30人

参加費：全セッション通し/7,000円、セッションⅠ/3,000円、セッションⅡ/4,000円
(要旨集合含む、参加費は当日会場でお支払いください)

申込方法：Web上のフォームからお申し込み下さい <https://www.spj.jp/category/event/others/>

申込締切：2022年6月2日(木) ※定員になり次第締め切らせて頂きます

※ テーマ及び講師については、予告なく変更する場合がございます

【問合せ先】日本写真学会事務局 E-mail: info@spj.jp Tel: 03-3373-0724 Fax: 03-3299-5887

写真感光材料工業会 E-mail: kanzai.aoki@mbr.nifty.com Tel 03-6419-7241 Fax: 03-6419-7264



講演プログラム セッションⅠ「出力と表現技術」

講演 1

10:00~10:45

ハイブリッドインスタントカメラ「instax mini EVO」の開発

2021年12月に発売した「instax mini EVO」は、多彩な撮影を楽しめるコンパクトカメラであり、撮影画をその場でプリントでき、さらにスマートフォンプリンター機能も兼ね備えた、ハイブリッドな魅力を持つ商品である。商品化の狙いと開発技術を紹介する。

富士フイルム株式会社 イメージングソリューション事業部
イメージングソリューション開発センター 藤本 真一



講演 2

10:55~11:40

インクジェットプリンター SC-PX1VL の高画質化技術紹介

2020年に発売し、カメラグランプリ 2021 カメラ記者クラブ賞をいただきました写真プリンター「SC-PX1VL」は、写真の黒と青の表現力を一段と増しています。その高画質化技術について、ご紹介します。

セイコーエプソン(株) P商業・産業事業部 P商業・産業企画設計部 藤森 幸光



講演 3

11:50~12:35

ライフワーク「瞬間の顔」について

2022年3月17日から3月28日にかけて、東京・新宿のOM SYSTEM GALLERYで、写真展「瞬間の顔 Vol.14」を開催した。この「瞬間の顔」シリーズは2007年3月に初めて開催し、回数を重ねること14回、撮り続けて15年で1000人を達成し最終回を迎えた。あらためて撮影をはじめたきっかけや被写体となった方々とのエピソードなど、これまでの歩みについて振り返りをしてみたい。

写真家 山岸 伸

山岸 伸 氏 紹介

1950年3月22日生、(社)日本写真家協会会員、(社)日本広告写真家協会会員、とちぎ観光大使。広告、ポスター、カレンダー、各レコード会社ジャケット撮影、各出版社写真集、各出版社表紙写真、グラビア撮影、DVD製作など、多方面で活躍中。



セッションⅡ「最新カメラシステムの技術動向」

講演 4

13:30～14:15

感動の瞬間を切り取るOM-1の開発

OM デジタルソリューションズは、小型軽量システムによる高い機動力に高画質と高性能を兼ね備えたマイクロフォーサーズ規格準拠のミラーレス一眼カメラ「OM SYSTEM OM-1」を2022年3月に発売しました。本機は、唯一無二の顧客体験を提供する「OM SYSTEM」カメラのフラッグシップモデルとして、撮影者の創作意欲を掻き立て、どこへでも持ち出したいくなる軽快性と、撮りたいものが思い通りに撮れる感動を提供する製品です。新開発のデバイスと最先端のデジタル技術を結集し、センサーサイズの常識を覆す高感度、高解像の画質を実現したほか、AFや連写性能などの基本性能も従来機種から大幅に進化しています。さらに、これまで特殊な機材やスキルを必要とした高度な映像表現も、強化されたコンピューショナルフォトグラフィ機能により誰もが簡単に楽しめるようになり、多くのシーンで表現力豊かな撮影が可能です。本公演では、この次世代マイクロフォーサーズカメラ「OM SYSTEM OM-1」だけが実現できる世界についてご説明いたします。



OMデジタルソリューションズ株式会社 R&D ELシステム開発 一寸木 達郎

講演 5

14:25～15:10

ミラーレスデジタルカメラ「EOS R3」の開発

キヤノンは、フルサイズミラーレスカメラ「EOS R3」を2021年11月に発売しました。「EOS R3」は、デジタルカメラでは初となる視線入力AF機能を搭載し、新開発の裏面照射積層型CMOSセンサーと映像エンジンDIGIC Xにより、電子シャッター撮影時に、最高約30コマ/秒の高速連写と高画質を両立しています。また、縦位置グリップ一体型でありながら操作性の向上と軽量化、高い防塵・防滴性能の両立を実現しています。本講演では、「EOS R3」の開発の経緯や搭載技術について紹介します。



キヤノン株式会社 イメージコミュニケーション事業本部 ICB製品開発センター 清田 真人

講演 6

15:20～16:05

ニコン初フラッグシップフルサイズミラーレスカメラ「ニコン Z9」の開発

ニコンは、「ニコンZマウント」を採用した初のフラッグシップモデルとなる、フルサイズミラーレスカメラ「ニコンZ9」を2021年12月に発売しました。新開発の積層型CMOSセンサーと画像処理エンジン「EXPEED 7」により、ニコン史上最強のAF性能を実現。さらに、世界最多の9種類の被写体検出に対応。動画撮影においては、決定的瞬間を撮り逃さない高性能な8K、4K動画を搭載。また、過酷な状況でも多様なアングルで存分に撮影できる操作性・信頼性の向上。さらに従来の光学ファインダーや電子ビューファインダーの見えを超える電子ビューファインダー「Real-Live Viewfinder」を搭載しました。本講演ではZ9について紹介します。



株式会社ニコン 設計部 第四設計課 斉藤 義久

講演 7

16:15～17:00

細部に宿る設計思想



“神は細部に宿る”という有名な格言がある。これは「細部まで作り込め」という意味ではなく、「細かいところまで観察してみると、コンセプトが見えてくる」という意味であると豊田は考えている。カメラやレンズは細部を観察してみるとその製品の開発思想がおぼろげながらではあるけれど、見えてくる。特にハイエンドモデルやフラッグシップモデルではより明確に細部に思想を刻み込んでいると考えている。最新のハイエンドモデルの作り込みを観察・比較し、設計者がどんなこだわりを持ってその形状や配置とし撮影者をサポートしているのか？について、豊田が考える「開発が配慮している・配慮出来ていない」ポイントを紹介。

フォトグラファー 豊田 慶記

豊田 慶記 氏 紹介

1981年広島県生まれ、日本大学芸術学部写真学科卒業。カメラグランプリ外部選考委員、日本作例写真家協会会員、写真家。カメラ雑誌やwebにて、レビューなど執筆。